

乳がん 高度検診・治療センター NEW-す NO.91



2021.12



乳がんの内服治療の服薬サポート

～副作用を調整し、安心して飲み薬の治療を続けるために～

乳がんの薬物療法には抗がん剤治療（化学療法）、ホルモン療法（内分泌療法）、分子標的治療（免疫チェックポイント阻害薬による治療を含む）などがあります。治療方法は「点滴」「注射」「内服」の3通りです。点滴や注射で行う治療は入院や外来・化学療法センターなどで行うので、必要に応じて医師・看護師・薬剤師に相談できるタイミングがあります。

しかし、内服治療は処方されてからご自宅で開始となります。副作用をご自身で調整しなければならず、通院の間隔も人それぞれで次の予約までご不安を抱える方も多いのではないのでしょうか。できるだけ副作用に負けずに長く治療を続けて頂くために、今回は乳がんの治療薬を自宅でお飲んでおられる方へのサポート体制をご紹介します。

乳がんの主な内服治療薬と副作用については下記表のように多種多様で個人差があります。症状などについてはお菓のリーフレットをご覧ください。お持ちでなければお渡しします。

内服治療	商品名(先発品)	主な副作用	
ホルモン療法	フルバデックス	ホットフラッシュ	婦人科系症状 関節痛
	アリミデックス アロマシン フェマラ		
	ゼローダ	手足症候群 悪心	
抗がん剤治療	エスワンタイホウ	骨髄抑制	
	イブランス	骨髄抑制	
分子標的治療	ページニオ	下痢 息切れ 悪心	
	アフィニトール	口内炎 息切れ	
	リムパーザ	吐き気 疲労 貧血	
	タイケルブ	下痢 息切れ 疲労	

ページニオによる下痢やアフィニトールによる口内炎は辛い副作用ですがセルフケアで対応できることが多く、当院では以下のような取り組みを行っています。

▶ページニオ内服開始後1週間後に乳腺センター看護師から電話で症状を伺っています。

▶アフィニトール内服による口内炎については、認定看護師による口腔ケアやブラッシングのご説明、必要時栄養士による栄養指導などを行っています。

◎薬剤師への相談（薬薬連携）

当院には外来がん治療認定薬剤師が勤務しております。乳がんの内服治療について相談のご希望があれば下記相談窓口でお声掛けください。また当院薬剤師と院外薬局薬剤師とは薬剤情報提供書で連携しています。院外薬局でもお気軽にご相談ください。



◎乳腺センター以外の主な相談窓口と対応者

- ・①・②は乳腺センター受付、③・④は入院支援センターまたは地域医療連携室にご連絡下さい。 072-422-5865（代表）
- ・費用：①・②は3割負担の方で約600円、③・④は相談無料。

相談窓口	対応者
① 乳がん看護外来(毎週木曜日)	乳がん看護認定看護師
② がん化学療法看護外来(平日9:30～)	がん化学療法看護認定看護師
③ 総合看護相談(平日の9:00～12:00) がん看護相談(金曜日14:00～)	乳がん・がん化学療法看護認定看護師を含む認定看護師
④ がん相談支援センター(平日9:00～17:00)	医療ソーシャルワーカー・乳がん看護認定看護師を含む看護師

乳腺センター受付に電話で相談していただくことも可能です。その際は少しお時間を頂くこともございます。

副作用をコントロールして長く治療を続けて頂けるように医師だけではなく、医療スタッフもサポートいたします。ご不安などあればお気軽にご相談下さい。

薬剤部副部長（外来がん治療認定薬剤師）谷口嘉宏/ 乳がん看護認定看護師 梅本郁奈子

市立貝塚病院
TEL : 072-422-5865

